

第2学年 特別の教科 道徳学習指導案

1 主題名 自分で決める（A善悪の判断、自律、自由と責任）
(教材名：ほんたとかんた 出典：生きる力2【日本文教出版】)

2 目標

よいと思うことを自分で考え決定し、実行すると、やってよかったとすがすがしい気持ちになることを理解し、自らよいと思うことを進んで行おうとする心情を育てる。

3 授業計画

【学習前の児童の姿】

本学級の子どもたちは、2年生に進級し、何事にもがんばろうという意欲をもち、前向きに取り組もうとする姿が見られる。そして、遊びのきまり、廊下の歩き方、図書室やスペースでの過ごし方など、何がよいことかは判断できるようになっている。しかし、校庭のいけない場所に秘密基地を作ったり、皆がやっているからとすべり台を下から登っていったり、これくらいならいいだろう、他の子もやっているからいいだろうと甘い考えに流されてしまうことがある。自分の行動を決めるときには、つい自分の都合を優先したり、周りの友達の言うことに影響されたり、心の弱さが露呈してしまうことがある。この教材を通して、「叱られるから守る」「友達がやっているからやつてもよい」のではなく、自分で決めて行動することのよさやよいと思ったことをやり通すと、やってよかったとすがすがしい気持ちになることを理解させたい。そして信じたことを、選択しようとする心をもつことのすばらしさを感じられるようにしたい。

〈こんな教材の魅力を〉【1時間完了】

- ・本教材では、公園の裏山で秘密基地を見つけたと喜ぶかんたに対して、「裏山には入ってはいけないと言われているよ」「ぼくも、かんたみたいに行ってみたいな」とほんたの心が揺れ動く。友達との関係、周囲の状況、自分の都合、さまざまな要因で善悪の判断が揺らいだとしても、自分のよいと思うことを選び実行できるよさを考えさせていきたい。自ら正しいと信じたことを選択したあとの心地よさを感じ取らせたい。

〈こんな手立てで〉

- ・ほんたの心が、さまざまな要因で善悪の判断が揺らいでいることを捉え、「ぼくは行かない」と、よいと思うことを自分で決めたほんたの姿から、自分で考えて決めるとすがすがしい気持ちになることを押さえる。
- ・二人でブランコに乗る場面から、自分で決めたことの喜びやすがすがしさ、これから意欲について考えを深める。

【学習後の児童に期待する姿】

- ・自分で決めて行動すると、すがすがしい気分になることを理解し、自らよいと思うことを自分で選び、進んで行おうとしている。

4 本時の指導

(1) 指導の構想

「二人でいこうよ」と誘うかんたに「だめだよ」と伝えながらも、心が揺れ動き、「ぼくは行かない」とほんたが決めるまでの役割演技を行い、二つの言葉のトーンの違いから、ほんたの決意をつかませる。心が揺れる様子を多様に考えることで、いろいろな考えの中から、よいと思うことを自分で決めて行動していることに気付くようにする。次に、二人で仲良くブランコに揺られている場面から、二人のよいと思ってことを自分で決めた時の心のすがしさをつかませ、自らよいと思う行動を自分で決めて実行すると、やってよかったとすがすがしい気持ちになることを理解できるようにしていきたい。

(2) 準備 (教師) 插絵、(児童) 教科書、道徳ノート

(3) 学習過程

学習活動(時間)	予想される児童の反応		※教師の支援
1 めあての確認 (1)	めあて 自分で決めることのよさについて考えよう。		
2 過去の経験を振り返る。 (3)	いやだなと思ったけれど、よいことを自分で決めたとき、よかったことはあるかな		※事前にアンケートをとり、結果を掲示しておき、共有する。 ※「嫌だと思ったけどよいことをした」と場面を限定することで生活経験を想起できるようにする。

3 教材を読む。(3)			
4 ぽんたの気持ちを考える。(13)	一人になったぽんたは、じっとどんなことを考えていたのかな		
	<ul style="list-style-type: none"> お母さんに怒られるから、やめ方がいいな。 でも楽しそうだな。 バレなきやいいかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ちょっとくらいいいかな。前、怪我した人がいたからダメなのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> かんたと遊びたいな。でも悪いことはしたくないな。 お母さん、心配するかな。 悪いことしたらもやもやするな。 <p>※「怒られるから」という他律的な考え方から、なぜ母が怒るのかを考えさせ、他者への迷惑にも考えが及ぶように、教師の問い合わせで引き出していく。 ※子どもたちの考えを広げるために、教師は「行きたい」という立場に立ち、子どもたちに投げかける。</p>
ぽんたが「ぼくは行かない」と決めたとき、どんなことを考えていたのかな			
	<ul style="list-style-type: none"> 危ないから。 怒られるのがいやだから。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊んでいても楽しくない。 怪我したらつまらなくなっちゃうな。 	<ul style="list-style-type: none"> 悪いことをしていたら心がもやもやする。 お母さんに心配かけたくないな。 <p>※「ぼくは行かない」の役割演技を教師と代表児童が行い、二つの言葉の違いについて考えられるようする。 ※悪いことをすると気がとがめ、もやもやすること、自分で決めると心がすっきりし、すがすがしくなることについて問い合わせし、深めていく。</p>
5 よい判断をしたことのよさを考える。(20)ペア	ブランコをこぎながら、二人はどんなことを考えていたのだろう		
	<ul style="list-style-type: none"> 風が気持ちいいな。涼しい。 約束が守れてよかったです。うれしい。 一緒に遊べば楽しいね 	<ul style="list-style-type: none"> 勇気を出して言えてよかった。 怪我したり約束を破ったりしなかつたから、心配をかけずにすんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> すごく迷ったけど、やつぱりだめと自分で決めて、すっきりしている。 自分で決めると気持ちがいいな。 <p>※ペアで考え、風の気持ちよさだけではない友達の考えを聴き合う。 ※相手に対する思いやりや友情の価値に流れないように「すっきり」を問い合わせすることで自分で決めることが本人たちの誇りにつながること捉えられるようする。</p>
自分で決めることのよさは何だろう			
	<ul style="list-style-type: none"> 心がすっきりするよ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分でよく考えて決めると、心がすっきりするよ。 	<ul style="list-style-type: none"> もやもやするとずっと嫌なままだから、ダメなことは自分で考えて断るとすっきりするよ。 自分で決めるとすっきりするから自分で決めていきたいな。 <p>※板書を見ながら、自分が大切だと思う言葉を選びながら、振り返りをまとめてよいことを伝える。 ※自分で決めて行うことが晴れ晴れとした気持ちにつながっていることに気付けるようにする。</p>
6 振り返り(5)ペア	今日の授業でいいなと思ったことを伝えよう		
	<ul style="list-style-type: none"> だめなことは断る勇気が大事。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で決めると心がすっきりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で決めると心がすっきりする。気持ちがいい。 <p>※黒板の板書を見てもよいことを伝え、心に残ったことをペアに伝え合う。 ※ペアの子の言葉も引用しながら、全体に伝えてよいことを確認する。</p>

(4) 評価

- よいと思うことを自分で考え決定し、実行すると、やってよかったとすがすがしい気持ちになることを理解し、自らよいと思うことを進んで行おうとする気持ちを高めることができたか。 (発言・ワークシート)